

- 【知識及び技能】生涯にわたる社会生活に必要な国語について、その特質を理解し適切に使っている。
- 【思考力、判断力、表現力等】「話すこと・聞くこと」、「書くこと」、「読むこと」の各領域において、生涯にわたる社会生活における他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりしている。
- 【学びに向かう力、人間性等】言葉を通じて積極的に他者と関わったり、思いや考えを深めたりしながら、言葉のもつ価値への認識を深めようとしているとともに、言語感覚を磨き、言葉を効果的に使おうとしている。

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けるようにする。	論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。	言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域			評価規準	知	思	態	配当 時数
			話・ 聞	書	読					
1 学 期	書き手の意図をつかむ/目指す世界の地図を作る 【知識及び技能】 表現の特色を踏まえ、正確さ、分かりやすさ、適切さなどに配慮した表現を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などについて叙述を基に的確に捉え、要旨や要点を把握する。 【学びに向かう力、人間性等】 言葉がもつ価値への認識を高めるとともに、言語文化の担い手として言葉を通して他者に関わろうとする態度を養う。	・言葉の働き ・話し言葉と書き言葉 ・漢字 ・語彙 ・考えの形成、記述 ・構造と内容の把握				【知識及び技能】 表現の特色を踏まえ、正確さ、分かりやすさ、適切さなどに配慮した表現を理解している。 【思考・判断・表現】 文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などについて叙述を基に的確に捉え、要旨や要点を把握している。 【主体的に学習に取り組む態度】 言葉がもつ価値への認識を高めるとともに、言語文化の担い手として言葉を通して他者に関わろうとしている。	○	○	○	10
	定期考査			○	○		○	○		1
	書き手の意図をつかむ/ものづくり 【知識及び技能】 個別の情報と一般化された情報との関係について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などを的確に捉え、要旨や要点を把握する。 【学びに向かう力、人間性等】 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。	・言葉の働き ・話し言葉と書き言葉 ・漢字 ・語彙 ・話合いの進め方の検討、共有 ・表現 ・考えの形成、記述	○	○		【知識及び技能】 個別の情報と一般化された情報との関係について理解している。 【思考・判断・表現】 文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などを的確に捉え、要旨や要点を把握している。 【主体的に学習に取り組む態度】 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、言葉を通して他者や社会に関わろうとしている。	○	○	○	15
	定期考査			○			○	○		1

2 学 期	対比を読み取る/水の東西 【知識及び技能】 個別の情報と一般化された情報との関係について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などについて叙述を基に的確に捉え、要旨や要点を把握する。 【学びに向かう力、人間性等】 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。	・言葉の働き ・話し言葉と書き言葉 ・漢字 ・語彙 ・考えの形成、記述 ・構造と内容の把握	○	○	【知識及び技能】 個別の情報と一般化された情報との関係について理解している。 【思考・判断・表現】 文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などについて叙述を基に的確に捉え、要旨や要点を把握している。 【主体的に学習に取り組む態度】 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとしている。	○	○	○	14	
	定期考査		○	○		○	○		1	
	コミュニケーションと言葉/世間話はなぜするか 【知識及び技能】 実社会において必要な語句の量を増すとともに、語句や語彙、表記の仕方などを理解し、語彙を豊かにする。 【思考力、判断力、表現力等】 目的に応じて、文章や図表などに含まれている情報を相互に関係付けながら、内容や書き手の意図を解釈し、自分の考えを深める。 【学びに向かう力、人間性等】 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、読書に親しみ、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。	・言葉の働き ・話し言葉と書き言葉 ・漢字 ・語彙 ・話合いの進め方の検討、共有 ・表現 ・構造と内容の把握	○	○	○	【知識及び技能】 実社会において必要な語句の量を増すとともに、語句や語彙、表記の仕方などを理解し、語彙を豊かにしている。 【思考・判断・表現】 目的に応じて、文章や図表などに含まれている情報を相互に関係付けながら、内容や書き手の意図を解釈し、自分の考えを深めている。 【主体的に学習に取り組む態度】 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、読書に親しみ、言葉を通して他者や社会に関わろうとしている。	○	○	○	18
定期考査		○	○		○	○		1		
3 学 期	話し言葉の技術/プレゼンテーション 【知識及び技能】 話し言葉と書き言葉の特徴や役割、表現の特色を踏まえ、正確さ、分かりやすさ、適切さ、敬意と親しさなどに配慮した表現や言葉遣いについて理解し、使うことができる。 【思考力、判断力、表現力等】 話し言葉の特徴を踏まえて話したり、場の状況に応じて資料や機器を効果的に用いたりするなど、相手の理解が得られるように表現を工夫する。 【学びに向かう力、人間性等】 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。	・言葉の働き ・話し言葉と書き言葉 ・漢字 ・語彙 ・話合いの進め方の検討、共有 ・表現 ・構造と内容の把握	○	○	【知識及び技能】 話し言葉と書き言葉の特徴や役割、表現の特色を踏まえ、正確さ、分かりやすさ、適切さ、敬意と親しさなどに配慮した表現や言葉遣いについて理解し、使うことができている。 【思考・判断・表現】 話し言葉の特徴を踏まえて話したり、場の状況に応じて資料や機器を効果的に用いたりするなど、相手の理解が得られるように表現を工夫している。 【主体的に学習に取り組む態度】 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとしている。	○	○	○	16	
	定期考査		○			○	○		1	
合計										78

教科 国語 科目 言語文化

单位数： 2 单位

対象学年組：第 2 学年 N 組

使用教科書：（ 104数研 言文709 新編 言語文化 （数研出版） ）

教科 国語 の目標：

【知識及び技能】生涯にわたる社会生活に必要な国語について、その特質を理解し適切に使っている。

【思考力、判断力、表現力等】「話すこと・聞くこと」、「書くこと」、「読むこと」の各領域において、生涯にわたる社会生活における他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりしている。

【学びに向かう力、人間性等】言葉を通じて積極的に他者と関わったり、思いや考えを深めたりしながら、言葉のもつ価値への認識を深めようとしているとともに、言語感覚を磨き、言葉を効果的に使おうとしている。

科目 言語文化 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めることができるようにする。	論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関りの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。	言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域			評価規準	知	思	態	配当 時数
			話・ 聞	書	読					
1 学 期	詩歌を味わう/短歌、俳句 【知識及び技能】 我が国の言語文化に特徴的な語句の量を増やし、それらの文化的背景について理解を深め、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにする。 【思考力、判断力、表現力等】 自分の体験や思いが効果的に伝わるよう、文章の種類、構成、展開や、文体、描写、語句などの表現の仕方を工夫する。 【学びに向かう力、人間性等】 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。	・言葉の働き ・漢字 ・語彙 ・表現の技法 ・構成の検討、考えの形成、記述、推敲、共有 ・構造と内容の把握 ・精査・解釈	○	○		【知識及び技能】 我が国の言語文化に特徴的な語句の量を増やし、それらの文化的背景について理解を深め、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 【思考・判断・表現】 自分の体験や思いが効果的に伝わるよう、文章の種類、構成、展開や、文体、描写、語句などの表現の仕方を工夫している。 【主体的に学習に取り組む態度】 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとしている。	○	○	○	10
	定期考査		○	○			○	○		1
	受け継がれる古典/羅生門 【知識及び技能】 文章の意味は、文脈の中で形成されることを理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 作品や文章に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉え、内容を解釈する。 【学びに向かう力、人間性等】 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。	・言葉の働き ・漢字 ・語彙 ・文や文章 ・構造と内容の把握 ・精査・解釈	○	○		【知識及び技能】 文章の意味は、文脈の中で形成されることを理解している。 【思考・判断・表現】 作品や文章に表れているものの見方、考え方を捉え、内容を解釈している。 【主体的に学習に取り組む態度】 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとしている。	○	○	○	15
	定期考査		○	○			○	○		1

東京都立農産高等学校 令和7年度（3学年用） 教科 国語 科目 国語表現基礎

教科：国語 科目：国語表現基礎 単位数：2 単位

対象学年組：第 3 学年 N 組

使用教科書：（ 50大修館 国表710 国語表現 （大修館書店） ）

教科 国語 の目標：

- 【知識及び技能】生涯にわたる社会生活に必要な国語について、その特質を理解し適切に使っている。
- 【思考力、判断力、表現力等】「話すこと・聞くこと」、「書くこと」、「読むこと」の各領域において、生涯にわたる社会生活における他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりしている。
- 【学びに向かう力、人間性等】言葉を通じて積極的に他者と関わったり、思いや考えを深めたりしながら、言葉のもつ価値への認識を深めようとしているとともに、言語感覚を磨き、言葉を効果的に使おうとしている。

科目 国語表現基礎 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるようにする。	論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関りの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。	言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域			評価規準	知	思	態	配当 時数
			話・ 聞	書	読					
1 学 期	表現力を培う 1 言葉と出会う 【知識及び技能】 ・言葉には、自己と他者の相互理解を深める働きがあることを理解し、言葉や表記の大切さを理解する。 ・自分の思いや考えを多彩に表現するために必要な語句の量を増し、適切な言葉遣いや表記に関する知識を広げ、語感を磨き、語彙を豊かにする。 【思考力、判断力、表現力等】 自分の思いや考えを明確にし、事象を的確に描写したり説明したりするための言葉と表記を正確に判断して、表現のしかたを工夫する。 【学びに向かう力、人間性等】 正しい表記や語彙を豊かにすることについて積極的に取り組もうとする態度を養う。	・言葉の働き ・話し言葉と書き言葉、言葉遣い ・語彙 ・文や文章 ・表現の技法 ・表現、共有			○	【知識・技能】 ・言葉には、自己と他者の相互理解を深める働きがあることを理解し、言葉や表記の大切さを理解している。 ・自分の思いや考えを多彩に表現するために必要な語句の量を増し、適切な言葉遣いや表記に関する知識を広げ、語感を磨き、語彙を豊かにしている。 【思考・判断・表現】 自分の思いや考えを明確にし、事象を的確に描写したり説明したりするための言葉と表記を正確に判断して、表現のしかたを工夫している。 【主体的に学習に取り組む態度】 正しい表記や語彙を豊かにすることについて積極的に取り組もうとしている。	○	○	○	10
	定期考査			○			○	○		1
	表現力を培う 6 会話・議論・発表 【知識及び技能】 話し言葉の特徴や役割、表現の特色について理解を深め、伝え合う目的や場面、相手、手段に応じた適切な表現や言葉遣いを理解し、使い分ける。 【思考力、判断力、表現力等】 相手の反応や場の状況に応じて言葉を選び、相手の同意や共感が得られるように表現を工夫する。 【学びに向かう力、人間性等】 相手や場面に応じた会話をするにに興味をもち、意欲的に活動に取り組もうとする態度を養う。	・言葉の働き ・話し言葉と書き言葉、言葉遣い ・語彙 ・表現、共有 ・話合いの進め方の検討、考えの形成、共有	○	○		【知識・技能】 話し言葉の特徴や役割、表現の特色について理解を深め、伝え合う目的や場面、相手、手段に応じた適切な表現や言葉遣いを理解し、使い分けている。 【思考・判断・表現】 相手の反応や場の状況に応じて言葉を選び、相手の同意や共感が得られるように表現を工夫している。 【主体的に学習に取り組む態度】 相手や場面に応じた会話をするにに興味をもち、意欲的に活動に取り組もうとしている。	○	○	○	15
	定期考査			○			○	○		1

東京都立農産高等学校 令和7年度（4学年用）

教科 国語 科目 国語表現応用

教科：国語 科目：国語表現応用

単位数：2 単位

対象学年組：第 4 学年 N 組

使用教科書：（ 50大修館 国表710 国語表現 （大修館書店） ）

教科 国語 の目標：

【知識及び技能】生涯にわたる社会生活に必要な国語について、その特質を理解し適切に使っている。

【思考力、判断力、表現力等】「話すこと・聞くこと」、「書くこと」、「読むこと」の各領域において、生涯にわたる社会生活における他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりしている。

【学びに向かう力、人間性等】言葉を通じて積極的に他者と関わったり、思いや考えを深めたりしながら、言葉のもつ価値への認識を深めようとしているとともに、言語感覚を磨き、言葉を効果的に使おうとしている。

科目 国語表現応用 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるようにする。	論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。	言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域			評価規準	知	思	態	配当 時数
			話・聞	書	読					
1 学 期	表現力を培う 4 自己PRと面接 【知識・技能】 言葉には、自己と他者の相互理解を深める働きがあることを理解する。 【思考・判断・表現】 ・目的や場に応じて、自分に関わる事柄の中から話題を決め、他者と話し合いながら情報を収集、整理して、伝え合う内容を検討する。 ・自分の思いや考えが伝わるよう、具体例を効果的に配置するなど、話の構成や展開を工夫する。 【学びに向かう力、人間性等】 効果的な自己PRをすることに興味をもち、意欲的に取り組もうとする態度を養う。	・言葉の働き ・話し言葉と書き言葉、言葉遣い ・語彙 ・文や文章 ・表現の技法 ・話題の設定、情報の収集、内容の検討 ・構成の検討、考えの形成、記述 ・表現、共有	○	○		【知識・技能】 言葉には、自己と他者の相互理解を深める働きがあることを理解し、言葉や表記の大切さを理解している。 【思考・判断・表現】 ・目的や場に応じて、自分に関わる事柄の中から話題を決め、他者と話し合いながら情報を収集、整理して、伝え合う内容を検討している。 ・自分の思いや考えが伝わるよう、具体例を効果的に配置するなど、話の構成や展開を工夫している。 【主体的に学習に取り組む態度】 効果的な自己PRをすることに興味をもち、意欲的に取り組もうとしている。	○	○	○	11
	定期考查			○			○	○		1
	表現力を培う 4 自己PRと面接 【知識・技能】 言葉には、自己と他者の相互理解を深める働きがあることを理解する。 【思考・判断・表現】 ・目的や場に応じて、自分に関わる事柄の中から話題を決め、他者と話し合いながら情報を収集、整理して、伝え合う内容を検討する。 ・自分の思いや考えが伝わるよう、具体例を効果的に配置するなど、話の構成や展開を工夫する。 【学びに向かう力、人間性等】 効果的な自己PRをすることに興味をもち、意欲的に取り組もうとする態度を養う。	・言葉の働き ・話し言葉と書き言葉、言葉遣い ・語彙 ・文や文章 ・表現の技法 ・話題の設定、情報の収集、内容の検討 ・構成の検討、考えの形成、記述 ・表現、共有	○	○		【知識・技能】 言葉には、自己と他者の相互理解を深める働きがあることを理解している。 【思考・判断・表現】 ・目的や場に応じて、自分に関わる事柄の中から話題を決め、他者と話し合いながら情報を収集、整理して、伝え合う内容を検討している。 ・自分の思いや考えが伝わるよう、具体例を効果的に配置するなど、話の構成や展開を工夫している。 【主体的に学習に取り組む態度】 効果的な自己PRをすることに興味をもち、意欲的に取り組もうとしている。	○	○	○	14
	定期考查			○			○	○		1

[illegible]